

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成16年12月9日(2004.12.9)

【公開番号】特開2003-155344(P2003-155344A)

【公開日】平成15年5月27日(2003.5.27)

【出願番号】特願2002-278058(P2002-278058)

【国際特許分類第7版】

C 08 G 73/10

C 08 J 5/18

// C 08 L 79:08

【F I】

C 08 G 73/10

C 08 J 5/18 C F G

C 08 L 79:08 Z

【手続補正書】

【提出日】平成15年11月27日(2003.11.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

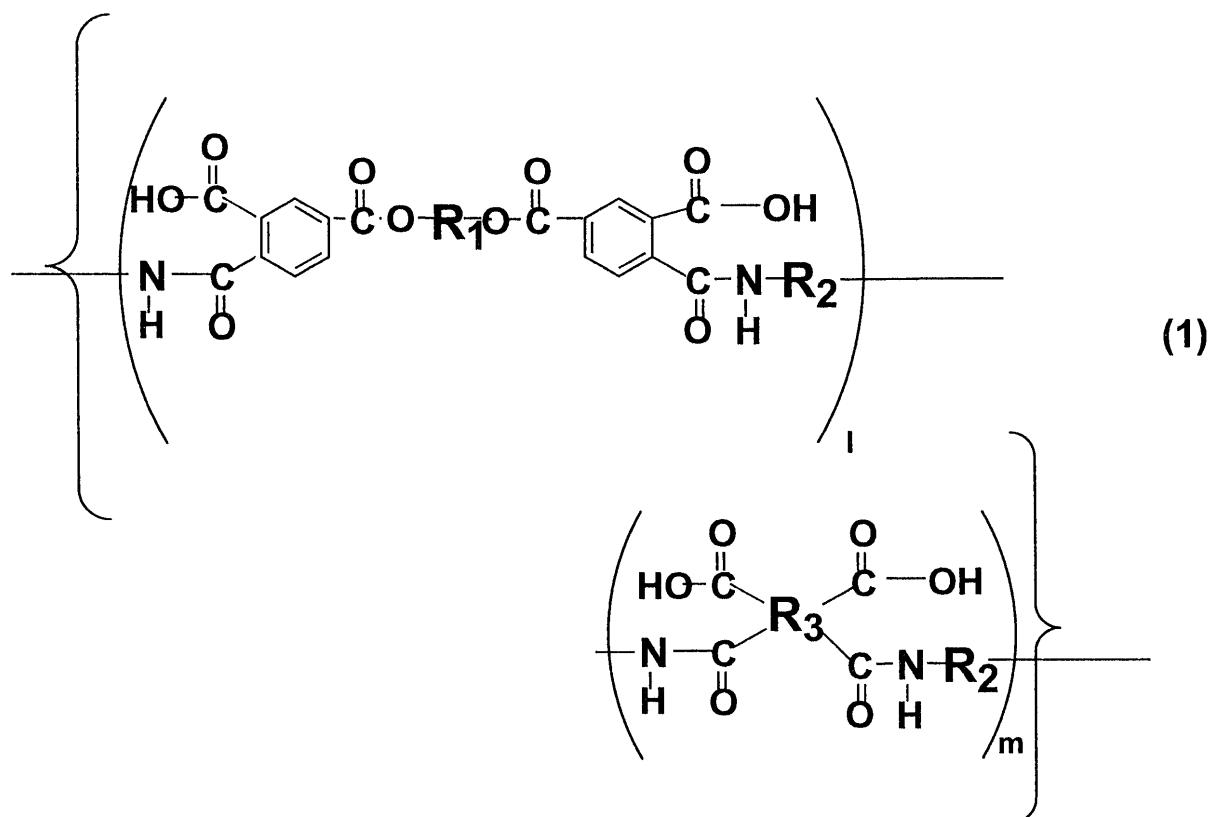
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

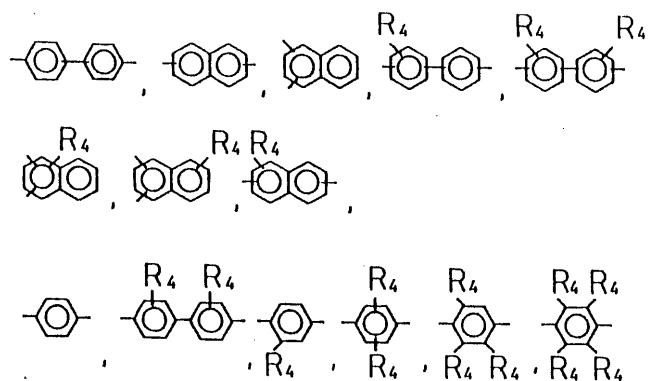
一般式(1)化1

【化1】



(式中、R₁は、化2

【化2】



から選択される2価の有機基、R₂は1種以上の2価の有機基、R₃は1種以上の4価の有機基であり、また、式中、R₄は、CH₃-、Cl-、Br-、F-、CH₃O-を示す。また、1、mは0以上の整数を示し、0 m / 1 9を満たす。)で表されるポリアミド酸共重合体またはその溶液に脱水剤と第3級アミンを加えた溶液を、支持体上に流延または塗布し、自己支持性を有する膜を得、

または、

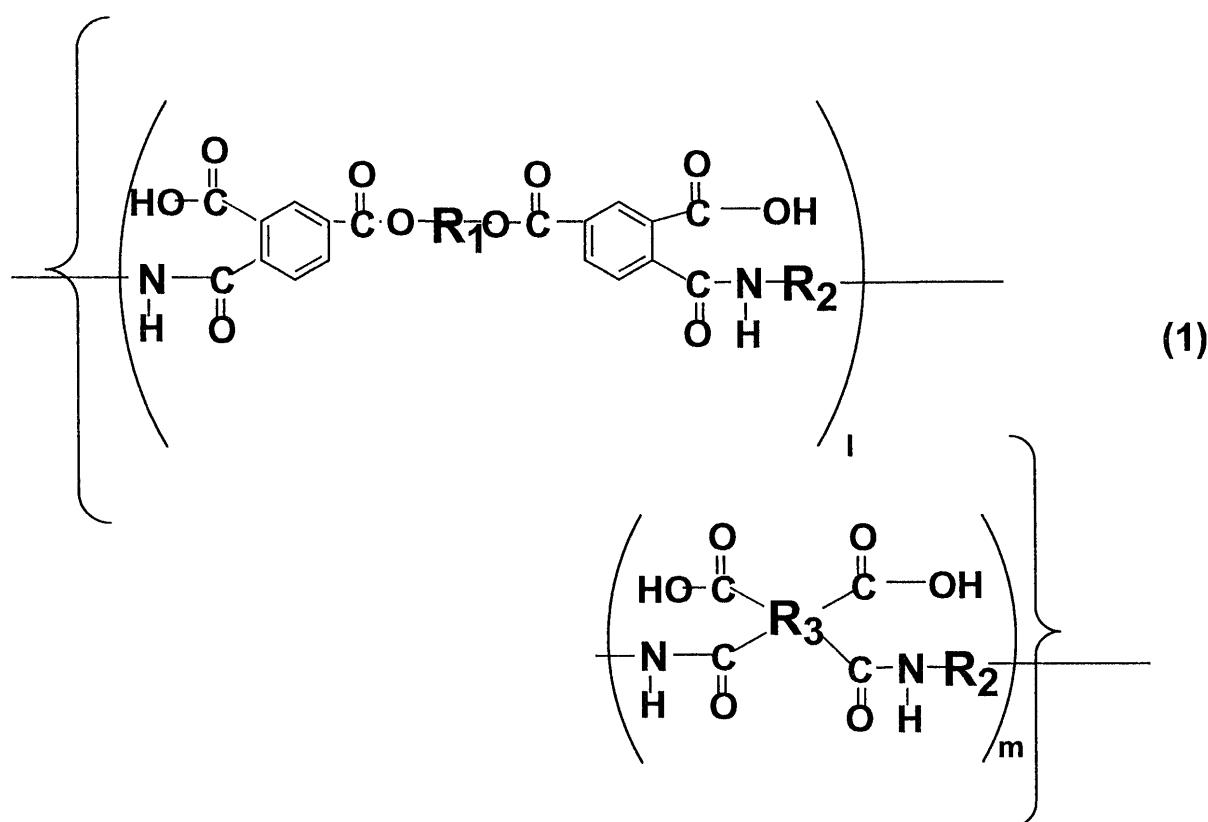
該ポリアミド酸共重合体またはその溶液を支持体上に流延または塗布し、自己支持性を有する膜を得、

これを引き剥がし端部を固定してイミド化することにより得られる、ポリイミドフィルム。

【請求項2】

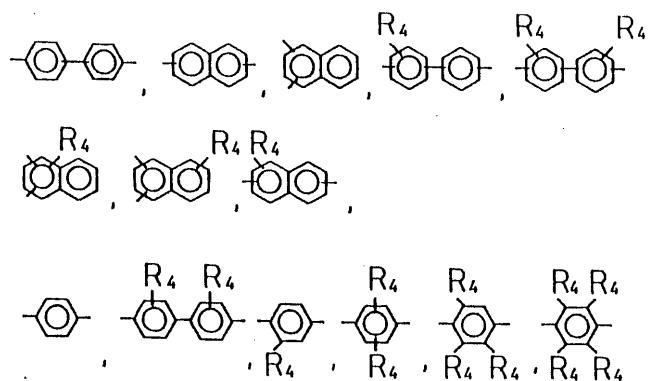
一般式(1)化3

【化3】

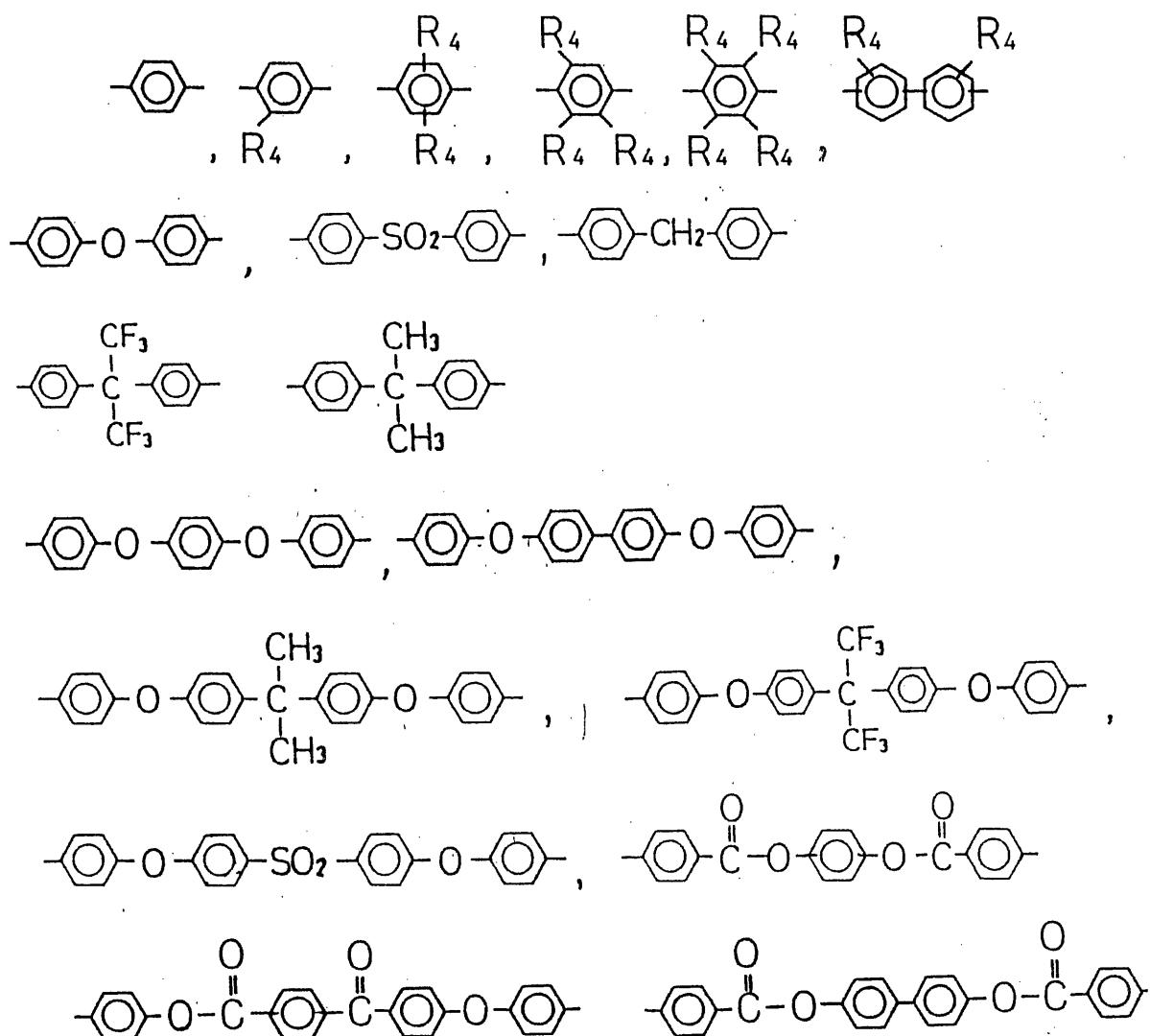


(式中、R₁は、化4

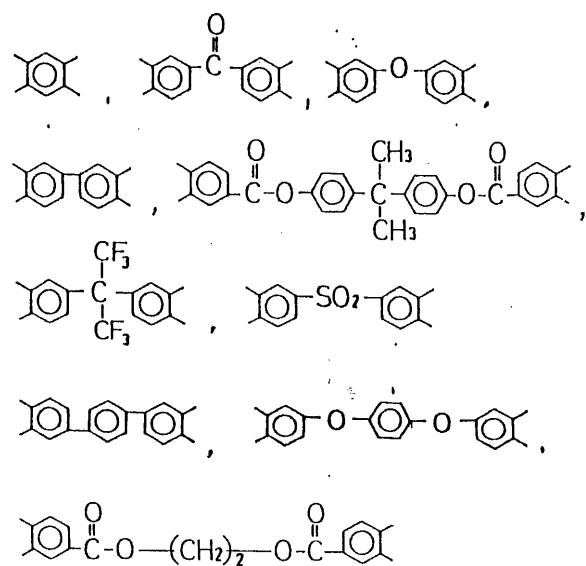
【化4】

から選択される2価の有機基、R₂は化5

【化5】

から選択される2価の有機基であり、R₃は化6

【化6】



から選択される4価の有機基であり、式中、R₄は、CH₃-、Cl-、Br-、F-、CH₃O-を示す。また、1、mは0以上の整数を示し、0 m/1 9, 1 0を満たす。)で表されるポリアミド酸共重合体またはその溶液に脱水剤と第3級アミンを加えた溶液を、支持体上に流延または塗布し、自己支持性を有する膜を得、または、

該ポリアミド酸共重合体またはその溶液を支持体上に流延または塗布し、自己支持性を有する膜を得、

これを引き剥がし端部を固定してイミド化することにより得られる、ポリイミドフィルム。

【請求項3】

吸水率が1.6%以下であり、かつ吸湿膨張係数が15ppm以下である請求項1または請求項2に記載のポリイミドフィルム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

から選択される2価の有機基、R₂は1種以上の2価の有機基、R₃は1種以上の4価の有機基であり、また、式中、R₄は、CH₃-、Cl-、Br-、F-、CH₃O-を示す。また、1、mは0以上の整数を示し、0 m/1 9を満たす。)で表されるポリアミド酸共重合体またはその溶液に脱水剤と第3級アミンを加えた溶液を、支持体上に流延または塗布し、自己支持性を有する膜を得、または、

該ポリアミド酸共重合体またはその溶液を支持体上に流延または塗布し、自己支持性を有する膜を得、

これを引き剥がし端部を固定してイミド化することにより得られる、ポリイミドフィルムである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 9 】

から選択される4価の有機基であり、式中、R₄は、C H₃-，C l -，B r -，F-，C H₃O-を示す。また、l，mは0以上の整数を示し、0 m / l 9，1 0を満たす。)で表されるポリアミド酸共重合体またはその溶液に脱水剤と第3級アミンを加えた溶液を、支持体上に流延または塗布し、自己支持性を有する膜を得、

または、

該ポリアミド酸共重合体またはその溶液を支持体上に流延または塗布し、自己支持性を有する膜を得、

これを引き剥がし端部を固定してイミド化することにより得られる、ポリイミドフィルムである。